

全測連近畿地区協議会

全測連・近畿地区協議会 活動報告

1 定例会

第2回定例会

日 時 平成22年9月13日(月)

15:00～17:00

場 所 葉業年金会館505号室

議 題

- (1) 全測連報告について
- (2) 地区協議会の在り方について
- (3) 全測連「〇〇県版製品仕様書の説明会」について

3 総合調整委員会

第1回総合調整委員会

日 時 平成22年10月28日(木)

15:00～17:00

場 所 兵庫県測協事務局会議室

議 題

- (1) 委員長・副委員長の選出について
- (2) その他
- (3) 製品仕様書に関する説明会について

2 要望活動

国土地理院近畿地方測量部との意見交換会

日 時 平成22年9月13日(月)

13:30～15:00

場 所 葉業年金会館505号室

議 題

- (1) 近畿地区協議会の活動状況
- (2) 国土地理院からの情報提供



(提供：豊田氏)

土地家屋調査士会

中央公会堂で記念式典とシンポジウム開催 大阪土地家屋調査士会

土地家屋調査士の制度は、昭和25年7月に土地家屋調査士法として制定されて以来、今年で60年を迎えました。

今年から来年にかけて各地の土地家屋調査士会では記念式典や記念事業が開催されています。

大阪土地家屋調査士会（横山慶子会長）では11月4日、商都・大阪のシンボルでもある中之島中央公会堂を会場に記念シンポジウム、記念式典、祝賀会を開催しました。

『境界シンポジウム In おおさか～表示登記と国民生活～』をテーマにしたシンポジウムでは大阪法務局長・石井寛明氏による「土地の表示に関する登記と筆界特定」、国土交通省土地水資源局・国土調査課の安藤暁史課長補佐からは「国土調査の意義と道筋」とそれぞれ題した基調講演があった後、大阪会会員による宮城県と宮崎県で実際に進行中で新聞でも度々取り上げられている『境界・所有権をめぐる紛争』の現地への調査に基づく事例報告、続いて京都産業大学・村田博史教授、名城大学・安本典夫教授を交えて『国民生活と境界』をテーマにしたパネルディスカッションが行われました。

地下鉄車内でのポスターによる事前広報や会場への便の良さもあり、荘重そのものの中央公会堂の大ホールは1000名を超える会員・市民・行政関係者等の出席を得るという大盛況となりました。夕刻から開催された記念式典・祝賀会には日本測量協会関西支部から出席いただいた太田博・副支部長はじめ府下各界から著名人多数のご出席を頂いての盛会となりました。



奈良では伊能図全国巡回フロア展

一方、奈良県土地家屋調査士会（丸田元明会長）では、奈良大学、日本土地家屋調査士会連合会、土地家屋調査士会近畿ブロック協議会（中村秀紀会長）と共催して10年ぶりとなる『伊能大図展』を奈良大学を会場に10月9～10日の2日間に亘って開催。

ちょうど10年前の1999年～2000年～2001年の足掛け3年にわたって全国を縦断しながら開催した伊能ウオーク事業を共催して以来の伊能図展でした。

今回は最近になってアメリカで新たに発見された図版を含め『完全復元』と銘打っての開催でしたが、会場には2日間で延べ2500名を越え

る市民が訪れるという大盛況。

折から古都奈良一円を会場に開催されている平城遷都1300年祭の協賛事業ということ、奈良大学の碓井照子教授、土平 博准教授を中心に大学が総力戦で企画運営をリードされたこと、学生の皆さんの全面的な協力があつたこと、国交省、環境省、農水省、厚労省、県・市ほか中央・地方の官公庁の講演を頂いての実施であつたこと等も広報効果を高めることに繋がつたものともいえます。

大図はその上を歩行可能な紙材に精密複写されていますが、シーボルト事件など多くの歴史秘話を持つ同図が会場の体育館いっぱいに敷き詰められるという圧倒的なスケールに訪れた市民は、ご自身の出身地や居住地が描かれた上を感嘆の声を上げながら辿っていました。

日本測量協会副会長で伊能忠孝研究会理事長でもある星埜由尚・元国土地理院長による伊能測量をテーマにした講演会にも会場の外にも傍聴者が出るほどの人気ぶりでした。



Column



(提供：豊田氏)

ブルーベリー

このスケッチは、昨年知人の「ブルーベリーもりや」さんの農園で撮った写真を絵にしたもの。花が咲き始めた我が家のブルーベリーもあと2ヶ月半もするとこんな実をつけてくれる？ かな??

我が家に実るブルーベリーも「ブルーベリーもりや」さんから苗木をもらってきたもの。でも実の付きなどがちょっと違うんだな～。「育て方かな～」と言えば、かみさんにしかられるが。

スケッチするにしても、我が家のブルーベリーよりやはりプロの農園がいい。